自己の骨髄幹細胞の静脈内投与による脳梗塞の治療

（脳神経外科学講座　教授　宝金清博）

我々は、ヒト骨髄細胞群の中から幹細胞を同定し、この幹細胞が、脳梗塞において脳神経再生に極めて有効であることを報告している。この細胞は、脳に直接投与する必要はなく、静脈投与することによって、脳の患部に到達させることができ、従来困難であった脳神経の再生が可能となった。現在、脳梗塞を対象とする臨床研究で安全性および治療効果の評価を行っている。

脳梗塞の新しい治療法の臨床研究に参加していただける方を募集しています

脳梗塞は、現在の医療技術では完全に治療することは不可能なことが多く後遺症が残ったりする難病です。 私たちは以下のような患者様を対象に、脳梗塞の新しい治療法（骨髄間葉系幹細胞）で、悪化の防止や機能の回復促進をみる臨床試験を実施しています。

●20歳以上の方　　●定期的に来院できる方

募 集 期 間

平成18年10月 ～ 平成22年3月

注意事項

●臨床性能試験の参加基準に合わない方や募集予定数を超えた場合は、ご参加いただけないことがあります。
●現在治療中の方は主治医とご相談の上、お問合せください。
●プライバシーは厳守されますので、安心してお問合せください。

◆ご興味のある方、ご協力いただける方は下記までお気軽にお問い合わせください。

＜連絡先＞
札幌医科大学付属病院　脳神経外科
担当医師　脳神経外科外来担当医師（責任医師：宝金　清博）
連絡窓口　TEL：011-611-2111（内線3366）外来担当看護師

連絡先：　本望　修　（E-mail: honmou@sapmed.ac.jp）